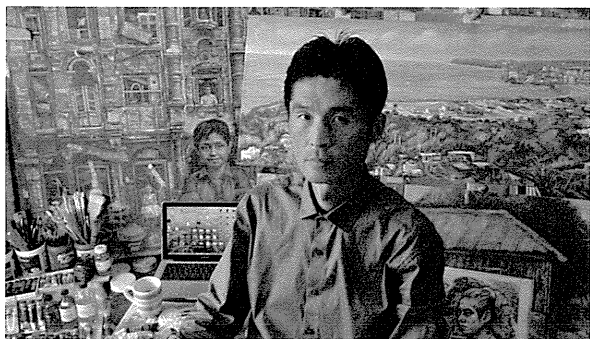


## 「今月の顔」 画家 榊原 康範さん Vol. 96

～新天地グアムで新境地に挑む。～

**「ラッテ」7月号より表紙に榊原氏の挿絵を掲載させていただきますことになりました。**グアムの自然や風景を描いていただける予定です。どうぞご期待下さい！



- Q: グアムには来られたきっかけをお聞かせください。  
 A: この春、妻のグアム日本人学校への赴任に伴い、随行してこの地にやってきました。グアムはもちろん、ミクロネシアへ足を踏み入れたのは今回が初めてです。
- Q: グアムの印象はいかがですか？  
 A: 空港から外に出た瞬間、光や色彩が日本とは違うと思いました。空の色が軽やかで、影の色がブルーなのに驚きました。生活が始まるとグアムの社会にはスペインやアメリカだけでなく、フィリピン、中国、タイ、インドなどさまざまな国の文化が複合、積層され、独自の文化が形成されていることに気づきました。
- Q: グアムでのお気に入りのスポットを教えてください。  
 A: セッティ湾の野性味と風格溢れる光景は古代、原始の骨太な世界を感じさせます、フムヨンマングロ山頂からの眺望は一層迫力がありません。南部の山々や村は魅力的です。海の音を聞きながら暮らしてみたいと思うほどです。イナラハン村の静かな暮らしにも共感を覚えました。
- Q: グアムで暮らす数年間、どんな風に過ごされる予定ですか？  
 A: まず家事が第一です。そして油彩画を100点仕上げるのが目標です。帰国後個展を控えています。新天地で画業に新たな時代を作りたいと考えています。海や山を探検し、文化も知り、自分の世界観に新たな息吹を取り込み深化と拡大ができるよう模索中です。日本人学校や日本人会のお手伝いもできればと思っています。
- Q: この10年ほどアジアを旅行され、多くの絵を描かれているのはなぜですか？  
 A: 東南アジアの現代美術に衝撃を受け、その作家の国タイへ行きました。若い時には興味はあったものの遠い存在だったアジアの国々ですが、30代後半になって赴いてみると、堪え難かったヘヴィで混沌とした情景に心が響いたのを覚えています。表情豊かで密度の高い世界に魅せられ、それからインド、ネパ

ール、香港、台湾、韓国などに出かけて絵を描いています。

Q: アジア各国での作品に込められた「世界の構造」というテーマはどのような意味ですか？

A: 現代社会の、合理性から優先順位が全てを支配する日常。アジアの旅で、多様な価値観が息づく壮大で自由な世界に気づきました。

我々は属する社会的約束を守るべきです。しかし最終的には、個人と環境の接触で世界観や人生観を形成し、どう生きるかを定めるものです。極めて個人的な営みです。なので、世界がどう出来ているかを曇りなき眼で体験する事が必要です。旅ではそれに気づきやすいのです。「世界を知ること」と「個人を知ること」は緊密に関連します。目にする建物や町並み、自然、人々などはそこに存在する価値があり、そこでどのように生きてもいいのだ、と迫ってきました。「世界の構造」というテーマで、その地に生きる一人一人の、我々の素晴らしい人生の鍵を表現したいと思って描き続けてきました。

Q: グアムでも「世界の構造」をテーマに描かれる予定ですか？

A: もちろんです。グアムを観察し続け、自分のハートの変化を見逃さずにグアムを切り取った絵を描いていくつもりです。アジアを経てたどり着いたグアムでの絵は新しい発見があるのではないかと期待しています。また太平洋、北中南米への興味がわいてきました。

Q: グアムですでに展覧会の予定があるようですか？

A: 9月にアッパータモンの日産ギャラリーでロン・カストロ氏とのジョイント展覧会を開く事になりました。今、その展覧会のために日々、キャンパスに向かっています。グアムでの作品をご覧いただける最初の機会となりますので、是非足を運んでください。

インタビュー：川端 真穂



## DIVING グアムの海をもっと楽しもう!!

!! グアムにいる間にこの綺麗な海でダイビングに挑戦して見ませんか? !!

ライセンスをお持ちでない方、既にお持ちの方、取得をお考えの方



在住の方料金や、遊びにいらしたお友達料金など各コース特別割引料金を設けています。

特別料金のため、混雑日や、開催不可能日などご希望に添えない場合もございますので、ご希望の方は一度お電話にてお問合せ下さい。

詳しくはお電話又はメールにてお気軽に  
 ☎ 688-1163 or guam@s2club.net  
<http://www.s2club.net/guam/index.html>  
**S2 CLUB GUAM**

